

第4学年 国語科学習指導案

単元名 「心のつながり」を読もう 主教材「ごんぎつね」 副教材「アンジェロ」

1 単元の目標

- 登場人物の心のつながりに関心を持ち、進んで物語を読んだり、考えたことを話し合おうとしたりしている。【関】
- 登場人物の性格や気持ちの変化・情景などについて、叙述を基に想像して読むことを通して、人によって感じ方の違いがあることに気付くことができる。【読】
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを知り、考えたことを話し合うときに活用することができる。【言】

2 指導と評価の計画

時間	○ねらい・学習活動	評価の観点			学習活動における具体的評価規準 ()は評価方法
		関	読	言	
(一次)	心のつながりをテーマにした物語を読み、考えたことを話し合う。	○「心のつながりをテーマにした物語を読んで、考えたことを話し合う」というめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。			
1		○教材文の範読を聞き、大体の内容をつかみ、初発の感想を書く。	○		・内容の大体を知り、感想を書いている。 (ノート)
2	○感想をもとに学習計画を立てる。	○		・感想を発表し、学習の見通しがもてている。 (ノート・発言)	
(二次)	○登場人物の気持ちや場面の様子を、心のつながりに着目しながら読み取る。				
3	・第一場面前半からごんの境遇を、後半から兵十の気持ちを読み取る。			○	・第一場面から、いたずらばかりするごんの境遇と、うなぎをとられた兵十の気持ちを読み取っている。 (観察・ワークシート)
4	・第二場面から、ごんと兵十の気持ちを読み取る。			○	・第二場面から、葬式の日のごんと兵十の気持ちを読み取っている。 (観察・ワークシート)
5	・第三場面から、ごんと兵十の気持ちを読み取る。			○	・第三場面から、うなぎのつぐないをめぐるごんと兵十の気持ちを読み取っている。 (観察・ワークシート)
6	・第四・五場面から、ごんと兵十の気持ちを読み取る。			○	・第四・五場面から、くりやまつたけの贈り物をめぐるごんと兵十の気持ちを読み取っている。 (観察・ワークシート)
7					

8	心のつながりをテーマにした物語を読み、考えたことを話し合う。	・第六場面から、ごんと兵十の気持ちを読み取る。	○	・第六場面から、真実を知った兵十と撃たれたごんとの気持ちを読み取っている。 (観察・ワークシート)
9		○心のつながりに着目して感想を書き、考えを交流する。 ・全文を読み、ごんと兵十の気持ちの変化をまとめる。	○	・全文を読み、ごんと兵十の心情の変化をまとめている。 (発言・ノート)
10		・考えたことや思ったことを表す言葉を知り、感想を書き、考えを交流する。	○	・考えたことや思ったことを表す言葉を使って感想を書いている。 (観察・ワークシート)
			○	・感想を発表し合い考えを交流している。 (観察・ワークシート・付箋)
(三次)		○心のつながりを取り上げた物語を読んで、感想を書き、考えを交流する。		
11		・心のつながりを扱った物語「アンジェロ」を読んで感想をもつ。	○	・心のつながりを扱った物語を読んで感想をもっている。 (発言・ノート)
12		・感想を書いて伝え合い、考えを交流する	○	・感想を伝え合い、考えを交流している。 (観察・ワークシート・付箋)
13		・心のつながりを取り上げた物語の感想を交流する。	○	・心のつながりを扱った物語について感想を伝え合い、考えを交流している。 (観察・ワークシート・付箋)

3 単元設定の理由

○ 本教材は、登場人物の思いがすれ違い、最後によりやく真実と互いの思いに気付くという心のつながりを扱った昔話で、物語の展開に沿って登場人物の気持ちの変化や性格を想像しながら読むのに適した作品である。美しい情景描写は、挿絵とあいまって児童の感受性に強く訴えかけ想像力豊かに読み味わうことができる表現がちりばめられている。副教材も同様に、主人公が初め邪魔者のように思っていたハトを世話するうちに互いを思いやるようになっていく物語である。児童は主人公の気持ちに寄り添いながら読むことにより、様々な感想をもつことができるだろう。そして、読んで感じたり考えたりしたことを話し合うことで一人一人の感じ方の違いがあることに気づくことができると考える。また、本教材と同じ「心のつながり」を取り上げた他の作品を並行読書していくことで、叙述を基に人物の性格や人柄などを想像する力を伸ばすとともに、心のすれ違いを通して心を通わせることの難しさや通い合った時の充実感などに共感し、今後の人間関係作りにも生かしていけると考える。

児童は、これまでに3年生の「ちいちゃんのかげおくり」「モチモチの木」や4年生の「白いぼうし」「一つの花」で、場面の移り変わりに着目しながら登場人物の気持ちや性格を読み取る学習をしてきた。本単元では「心のつながりをテーマにした物語を読み、考えたことを話し合おう。」という言語活動を設定し、登場人物の気持ちを読み取り友達と感想や考えを交流する。この活動を通して、人によって多様な感じ方や考えがあることやそれを受け入れる心を

もつことの大切さなどに気づかせたい。本単元の学習は、5年生の「大造じいさんとガン」で間接的に表現された心情や性格について読み取る学習へとつながっていく。

○

児童の実態については、省略しています。

- 指導にあたっては、第一次で教材文を読んだ感想をもとに、単元を通しての言語活動や学習のめあてなどについて話し合っただけで学習計画を立て、見通しを持って学習に取り組めるようにする。

第二次では、場面ごとにごんと兵十の「心のつながり」に着目しながら、叙述に即して場面の様子や登場人物の気持ちを読み取っていく。各場面の本文を載せたワークシートを用い、登場人物の気持ちが表れている言動にサイドラインを引き、思ったことを書き込むことによって、本文を根拠にして登場人物の気持ちを考えることができるようにする。その際、二人の距離間にもふれることですれ違う二人の心の距離を意識できるようにする。第8時で、真実とごんの思いを知った兵十の気持ちを考えさせることで、心を通わせることの難しさや大切さを感じ取らせたい。そして、第9・10時で全体を通しての感想を交流することで、人には様々な感じ方や考え方があることに気づくことができるようにしたい。

第三次では、ごんぎつねの学習を基に、まず全員で副教材「アンジェロ」を読んで粗筋をつかみ感想を書いて交流し、さらに並行読書してきた物語についての感想を交流する。さまざまな心のつながりを読み取ったりその感想を交流したりすることで、人はそれぞれ感じ方や考え方が異なることなどに気づいていけるようにしたい。そして、お互いの考えの違いを理解し合い認め合うことで、今後の自分の生活に生かすことができるようになってほしい。

以上のように、本単元では指導事項「読むこと ①」を受けて、「心のつながりをテーマにした物語を読み、考えたことを話し合おう。」という言語活動を通して、本校の研究主題「主体的に読み、目的に応じて自分の言葉で豊かに表現する子どもの育成」に迫りたい。

4 本時案（第6時）

本時の目標	うなぎのつぐないをめぐるごんと兵十の気持ちを読み取ることができる。
準備物	ワークシート、挿絵、ハート型の掲示物、ふき出し型の付箋
児童の活動の流れ	教師の支援と評価
1 本時のめあてをつかむ。	<p>○前時の学習を振り返り、第二場面でのごんの気持ちを確認する。</p> <p>○第三場面は、どんな場面か確認することで、めあてにつなげる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">「兵十をよろこばせたい」がわかるところを見つけよう。</p>
<p>2 つぐないをするごんと、兵十の気持ちを読み取る。</p> <p>・一人で読み取る。</p> <p>・みんなで話し合う。</p>	<p>○「兵十を喜ばせたい」など、ごんの気持ちが表れている言動にサイドラインを引き、理由を書き込むことを伝え、自分の考えを持つことができるようにする。</p> <p>○挿絵を提示し、つぐないのためにごんがとった行動や思いをイメージしやすくする。</p> <p>○机間指導をしながら、気持ちを読み取ることができている児童には丸をつけ、発表への意欲付けをする。</p> <p>◆困っている児童にはふき出しを渡し、ごんの気持ちを書き込むことができるようにする。</p> <p>○「おれと同じひとりぼっちの兵十か」を取り上げてイメージをふくらませることにより、自分と同じ境遇になった兵十に共感しているごんの気持ちを読み取ることができるようにする。</p> <p>○「いわしを投げこんで」、「まず一つ、いいことをした」や「くりをどっさり」などの言葉を取り上げて話し合うことにより、兵十を喜ばせたいごんの思いに気付くことができるようにする。</p> <p>○「これはしまった」や「次の日も、その次の日も」、「その次の日には」など、失敗の後も何度もつぐないをしている場面を取り上げることにより、兵十を喜ばせたいごんの強い思いに気付くことができるようにする。</p> <p>○第三場面前半と後半のごんの気持ちを想像し、ハート型の掲示物の大きさと比較することで、ごんの兵十への思いが強まっていることに気付くことができるようにする。</p> <p>◎つぐないを受けている兵十の気持ちを問うことにより、ごんの健気な思いに兵十はまだ気付いていないことを確認し、両者の思いが繋がっていないことに気付くことができるようにする。</p>
3 本時のまとめをする。	<p>○本時を振り返り、ごんと兵十の気持ちをワークシートに書き、発表することで本時のまとめとする</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">うなぎのつぐないをめぐるごんと兵十の気持ちを読み取っている。 (発言・ワークシート)</p>
4 次時の学習を知る。	<p>○次時は、第四・五場面のごんと兵十の気持ちを読み取ると伝えることで、学習への見通しがもてるようにする。</p>

本時案（第12時）

本時の目標	「心のつながり」をテーマにした物語を読んで感想を書き、考えを交流することができる。
準備物	ワークシート、挿絵、付箋
児童の活動の流れ	教師の支援と評価
1 本時のめあてをつかむ。	○前時までの学習を振り返り、本時は「アンジェロ」を読んだ感想を書き、伝え合い考えを交流することを確認する。
	「アンジェロ」にはどんな「心のつながり」があるかを伝え合おう。
2 あらすじを確認し感想を書く。	○活動の流れを知らせ、見通しをもって学習できるようにする。 ○前時に読んだ「アンジェロ」の挿絵を提示しながらあらすじを振り返り、心のつながりについて感想を書くことを伝える。 ◆感想を書くのが苦手な児童には、まず「誰から誰に対して」「どんな言動から」心のつながりを感じるかを書き、次に「それについてどう思うか。」を書いていくようにと声をかけ、段階を踏んで感想を書くように助言する。 ○机間指導をし、心のつながりについて分かりやすく書いている感想を紹介し、他の児童の参考になるようにする。
3 感想を伝え合い、考えを交流する。 ・グループごとに話し合う。 ・全体で話し合う。	◎互いに感想を発表し、自分の考えを付箋に一言コメントの形で返すことにより、共感したり同じ本を読んでも感じ方には違いがあることに気付いたりすることができるようにする。 ○第二次10時で書かれた一言コメントの良い例を紹介し、心のつながりに着目したり、自分の考えと比べたり、経験と結びつけたりしながら一言コメントを書くことができるようにする。 ◆感想交流に自信がない児童には、「ごんぎつね」の感想交流の仕方を思い出して参考にするとよいことや、先に友達の感想を聞いてから発表するように助言する。 ○心のつながりに絞った交流や一言コメントを取り上げて紹介することで、心のつながりに着目した交流ができるようにする。 ○感想交流が終わったグループは、どのような心のつながりが感じられたかについて話し合い、まとめるように伝える。 ○心のつながりを中心に感想を伝え合うことを確認し、観点を絞って交流ができるようにする。 ○心のつながりについて思ったことを発表し合い、共感したり同じ本を読んでも感じ方には違いがあることに気付いたりすることができるようにする。
4 本時のまとめをする。	○友達の感想や一言メモをもとに自分の感想を振り返り、思ったことや気付いたことを書くことで本時のまとめとする。
5 次時の学習を知る。	○次時は、並行読書をしてきた本について、友達と感想を交流することを知らせることで、意欲をもって学習に取り組めるようにする。
	「心のつながり」をテーマにした物語の感想を伝え合い、考えを交流することができている。 (観察・ワークシート・付箋)